



## ご挨拶 会長 赤鹿 正剛 (3期)

再び70周年記念事業を目指してOB・OG会が発足して来年は17年目を迎えようとしています。思えば、平成5年に正式に会が生まれ、その後平成12年2月を目標として寝屋川高校ハンドボール部の60周年記念事業を企画し、(約2年6ヶ月近い)期間を会員各位の情熱と熱意の集大成として、資金集めや、記念誌の発行、また、記念パーティーの開催及び母校への記念植樹を行い盛大に成功させることができました。

あれから10年の歳月が経過しようとしています。この度平成22年2月を目標として70周年記念事業を行うことになりました。60周年の経験を基にOB・OG会の各担当部会が鋭意努力し、着々と進行中であります。今回は短い残された期間を会員各位の会に対する熱い思いを傾けて70周年記念事業を成功に導こうではありませんか。そして、70周年も単なる通過点として、次の80周年90周年と永遠に私達のOB・OG会が続けられるよう頑張ろうではありませんか。

## 現役の状況 顧問 赤星 明

第63回高校秋季総合体育大会兼  
第60回インターハイ予選

[男子 リーグ戦]

寝屋川 7 - 20 北千里

寝屋川 24 - 6 枚方

[女子 トーナメント]

寝屋川 14 - 6 北千里

準決勝

寝屋川 15 - 14 千里青雲

決勝

寝屋川 8 - 17 箕面

北ブロック2位

中央大会

寝屋川 20 - 12 三国ヶ丘

寝屋川 3 - 43 四天王寺

寝屋川 14 - 15 八尾

・女子

今年のチームはスピードがあり故障者も少なく、仕上がりがよく大会に望めました。千里青雲高戦が一番の山場かと思っていました。前半は勝ったのですが、後半退場者が出て、2名退場のときは本当に苦しかったです。同点でラスト20秒くらいの相手のワンマン攻撃で、これで負けたと思いましたが、キーパーの足に当たり、ポールに当たり、ゴールラインでボールがとまりました。奇跡だと思いました。ペナルティ合戦で何とか勝てました。

中央大会では少しは自信があったのですが、八尾高校と近畿大会の出場をかけての試合は出足が悪く、追いかける展開になりました。ペースをつかめないまま気持ちだけあせり、キーパーからのボール出しも相手にカットされ得点されました。14対15で残り1、2秒でのシュ

ートがコーナーポストにあたり下にはねました。一瞬ゴールかと思いましたが、奇跡は二度起こりませんでした。選手たちは大泣きで、30分位声もかけられませんでした。しかし、本年は1年生が15名入部してくれ、ハンドの経験者も2名います。この悔しさをバネにまた1年間がんばりたいと思います。

現役	男子	女子
1年	15	15
2年	16	8
3年	4	9

## 正月ハンドボールのご報告 寺西 啓三 (20期)

今年も1月10日(土)母校寝屋川高校グラウンドで正月ハンドボールが行われました。

当日はやはり1月で寒い日でしたが、今年の現役男女1・2年生の部員数が多いこともあり活気あるものでした。

OB・OGの参加者では、日頃の鍛錬・トレーニングの賜物でしょうか22期生の小森園 多恵子(旧姓、畑中)さんのプレーは現役時代同様、小回りのきいた「さすが」と思わせるプレー振りでした。

続く、第2部の新年会には、今年も北岡先生、大森先生、赤星先生が出席くださり、豚汁・おしるこを食べながら、恒例のビンゴゲームで懇談が広がりました。先ほど述べましたように、最近では現役が活発化しているのに比べ、OB・OGの参加が少しさびしい状態です。

次の8月盆のハンドボール会には、現役に負けずに



OB・OGの皆さんの多数の参加をお願いします。

## 第63回春季総合体育大会兼第60回インターハイ予選大会観戦記 木村 慶次（18期）

6月21日（日）桃山学院高等学校体育館にて春季大会の決勝が、桃山学院と此花学院で執り行われました。今から45年前私も準決勝で佐野工高を撃破し、そして三国丘高と共に晴れて近畿大会に出場しました。

そのような思いで浸っていると試合が始まり我にかえりました。

思っていたよりも選手達が小さく又かわいらしかったのが、予想外でした。高校生ゆえ180センチクラスの選手が揃っていると思っていたのですが、平均170センチ前後と感じました。

ただ両チームとも足腰の安定感は抜群でスピード感も素晴らしかったです。

前半は6対17で最後は16対34で桃高の優勝でした。試合の内容ですが、34本中速攻は8本ぐらいでサイドから6本ポストから4本でセンターから、12本ぐらいだと思います。後は7メートル4本でした。この時のシュートですが、34本中30本はコーナーの右下と左下でした。胸から上は4本ぐらいでした。此花高も75パーセントは下狙いのシュートでした。胸から上だとキーパーが取りやすいしそのまま速攻されますので、下のバウンドシュートは基本だと思います。感心したのは172センチ

ぐらいの選手がフリースローラインの後ろからジャンプシュートで右下や左下にズバズバ決めていたのには感心しました。バックが2人でジャンプして止めにくくと、右のバックの脇からシュートしたり空中で一呼吸遅らしてバックの頭越しにバウンドシュートを打ったりの技術でした。どちらのチームも、お互い一呼吸遅らしてのジャンプシュートがよく決まっていました。感心するのは、ジャンプ力が素晴らしく空中で滞空しながらバックをはずしキーパーのタイミングをはずしてのシュートでした。又もう一つ感じたことは、両チームとも、ものすごい守りでドスンドスンと音がしていました。しかし桃山高校の方が守りのフットワークが優れていたためか、此花高の選手のみ退場者が4回ほどありました。しかし両チームとも、よく鍛えられているなど感じました。本当に素晴らしい試合でした。

その夜は試合が浮んできて眠れませんでした。昔の自分とオーバーラップさせていたからでしょうか。観戦記は以上ですが、母校の現役も青春できる3年間悔いのない日々を送ることを祈ります。最後に監督の赤星先生いつもご苦労様です。身体に気をつけてこれからも頑張ってください。

## 会計よりの御礼とお願い 井上 武久（23期）

会員の皆様には、平素より本会の運営につきご理解とご協力いただきますと共に、後掲の皆様には、平成20年度会費を納入していただき御礼申し上げます。

今後とも会費の趣旨をご理解いただき、本会の発

展並びに円滑な運営を行うため、平成21年度の年会費の払い込みにつきまして会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。



払い込みには、同封の郵便振替払込書又は銀行振込みでお願いいたします。

### ■郵便局利用

口座番号 01100-6-73829  
加入者名 寝屋川クラブ

（注）金額欄には「¥」を書かないで下さい。

この用紙には通信欄もありますので、会の運営に対してのご意見や近況報告など、お気軽にご利用ください。

### ■銀行振込利用

振込銀行 三井住友銀行 川西支店  
口座番号 普通預金 1011226  
口座名義 寝屋川クラブ 井上武久

※会費：社会人 5,000円 学生 免除

## 会費納入者<敬称 略 09.6.20現在>

- |    |  |
|----|--|
| 3期 | 森広洋子 大槻明子 村田芳子 赤鹿正剛 梅垣修三<br>中嶋直彦 岡田義弘 細川宗雄 |
| 5期 | 松本由紀子 樋上重夫 中東義治                            |
| 6期 | 多田恵美子 岸本操 望月滋乃                             |
| 7期 | 金馬桂子 桑原芳子                                  |



- 9期 高島美世子 長澤邦子 太田敦子
- 12期 尾亀敬子 岩井比沙子 仲澤三津子
- 13期 平井謙二
- 14期 吉田育弘 加堂政則
- 15期 小倉裕子
- 16期 木野実 大西武三 多賀谷博康 北村文雄
- 17期 中田順子 深水汎代 川口宗一郎
- 18期 津熊美智子 木村圭子 谷村千津子 木村慶次
- 19期 平井晴美
- 20期 寺西啓三 山中恵子 仲間由紀子
- 21期 松尾信一郎 梅垣三七子 内田一男 北澤三郎
- 22期 古本まみ 小森園多恵子
- 23期 井上武久 名賀三希子 葛木啓之
- 24期 小合省三
- 25期 寺前富士子
- 26期 地原繁信
- 27期 渡部安晴 堀川美子
- 28期 木崎智子
- 29期 小野千秋 久松俊美 望月光治 甫田裕佳里
- 30期 野際登美子
- 31期 田中裕一 大森孝志
- 33期 久木久美子 大塚万里子
- 34期 勝間香緒里
- 41期 安田郁
- 43期 小林恭子 稲葉清志
- 47期 尾張京子 六尾加奈子
- 56期 高倉はるか
- 60期 森田智世

## 総会とナイターハンドボールのお知らせ

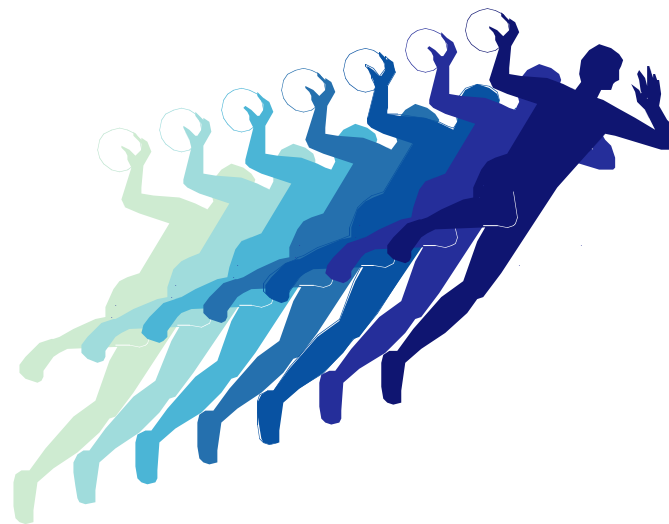
下記要綱にて  
ナイターハンドボール  
お誘いあわせの  
させていただきますようお  
現役生とOB・O



総会、及び、ナイ  
を行いますので、  
上、多数ご参加く  
願いたします。  
Gの親睦練習試  
合、恒例のビンゴゲーム・飲み物・軽食・スナック等を用  
意します。ご欠席の場合、委任状に捺印の上、ご返送  
をお願いいたします。

また、二次会をがんこ寿司で予定しております。現役  
への応援の意もこめより多くの皆様のご参加をお願いし  
ます。尚、スポーツの服装と着替えもお忘れなく！

日 時：平成21年8月15日(土)  
総 会：15:00～セミナー会館  
親睦試合：16:00～ハンドコート  
会 費：500円



## リレー伝言版

### 30期 野際 登美子(旧姓 阪長)

いつも楽しくリレー伝言板を読ませていただいていた  
ました。前回、同期の松川君のエッセイだったのでとても  
懐かしく読ませていただいていたところ…えっ、次は  
私??とびっくりしてしまいました。

さて、何を書こうか…現役時代のエピソード(小松市  
女での合宿などなど)は、確か前回の記念誌に書かせ  
ていただいたと思いますので、今回は子ども達の事を  
書こうかと思えます。

私には、社会人二年生の長男と長女(23歳、21歳)  
そして高校3年生の次男と三人の子どもがいますが、  
三人ともそれぞれ、野球部・バスケットボール部・体操部  
に入っていました。

高校野球の大阪大会の開会式に、寝屋川高校の行  
進を見ては心躍り、現役高校生の次男にいたっては、  
「試合で寝屋川高校の応援旗が体育館に張ってあつ  
た」と聞くだけで、違うクラブなのにワクワクしてしまいま  
す。

三人とも府立高校ですが、残念ながら私と同じハンド  
ボール部に入る子はいなくて…というよりも、ハンドボ  
ール部がないです。指導される先生がいないのだろう  
なあ…と思います。

従って、子供達は授業でハンドボールに関わることも  
なくスポーツテストのハンドボール投げでボールを触る  
ぐらいです。

それが、今年の北京オリンピックのハンドボールのア



アジア予選で、ハンドボールの試合が中継されることになり、少しは母のやっていたスポーツが理解してもらえたかな・・・？と思います。

子供達は「うわあ！お母さん激しいスポーツやっててんなあ」と感心してくれましたが、

現役の時はいした結果を残すこともなく北岡先生やいつも練習に来ていただいていた先輩にとっては、歯がゆい学年だったと思います。

が、卒業して社会に出るにあたり、また家庭に入って子ども達を育てていく中で、私の中では寝屋川高校のハンドボール部で得たものが、折々で役に立っていると感じるが多々ありました。

三人とも、クラブと勉強の両立で悩んだり、友達関係で悩んだりいろいろありましたが、30 年前の私の高校時代の話などすることがあります。今はわからないだろうけど、何年かして高校時代クラブ活動で得たものを感じ取ってくれたらなあと思っています。

こちら辺で次の方にバトンをお渡ししたいと思います。

1 年先輩のゴエモンさん(小野千秋さん)宜しくお願いします。

## 35 期 横田 和典

寝屋川高校在校生、卒業生の皆様大変ご無沙汰しております。電話にてこの原稿依頼を受けまして、ペンを走らせております。私が 35 期生ということもその時に知りました。このような私ですが、ハンドボールについて少し……。

昨日(6 月 16 日)も笑っていいともで、宮崎大輔が出演していました。彼の功績？でハンドボールも少し有名になり、オリンピック予選においては、いろいろな事情はあったにせよ、ゴールデンタイムで放送されるなど、旧ハンドボーラーとしては嬉しい限りです。そのテレビで宮崎大輔が「沖縄」が強いと言っていたのですが、(確かに今そうなのは新聞などで見聞していますが)私たちの時とは少し違うなと思い、時代の流れを感じます。

私にとってハンドボールは人生において結果的に、とても影響を与えられたと思っています。練習などの苦しみもありましたが、いろいろな意味における自信になったことも事実です。私が寝屋川高校に入学したとき、ちょうどクラスの担任があつた北岡大覚先生でした。もちろん、先生が入部を勧めたわけでもありませんでしたが、クラスから 7 人が入部したことを覚えています。部員も総勢で(一年生だけで)20 人を超えており、先輩の学年と合わせると 35 人程度いたのではないかと記憶しております。私の一学年上の先輩方は大変「強いチーム」で大阪の強豪とも 5 分に渡り合えるほどでした。その先輩方が卒業され我々の代になったとき、部員も 9 名になっており、新人戦においても勝ったり負けたりチームでした。しかし、冬を迎えるにあたり、(皆でそんなに「決意した」というわけでもありませんが)まず、ディフェンスを強くしようということになったように覚えています。点を取られないと負けないという点からです。プラス、本やテレビ(たまにあった、NHK 教育のハンドボール教室)などからフォーメーションを学び、いくつかの「スタイル」を皆で相談しながら作っていったと思います。春になり少しづつ実力をつけていった私たちはあと一回勝

てば中央大会というところまで行きました。その少し前からの練習試合を通して、「勝つ喜び」がめばえてきたことを覚えております。

大学に入り(同志社大学だったのですが)体育会には入らず、できたばかりの同好会に入部しました。(といっても私が大学一年の秋にできたのですが。つまり2期生です。)先輩にハンドボール経験者が少なく、我々の代から本格稼働したといえます。我々の代は高校時代の経験者がほとんどで、県代表になった人間も少なからずおりました。3 年になり私が部長に任命され、その時に「関西の同好会のハンドボールリーグ」を関学、京大など 5 チームほどで立ち上げました。(その後はどうなっているのかなあ。どなたか知っている方がいたら教えてください。yok@sd-lab.co.jp)そして三年秋には関東に遠征も行き、慶応、早稲田と親善試合も開催しました。(しばらく続いたときいておりますが)リーグを作る時も寝屋高の先輩が関学にいらっしゃったこともあり連絡がつながったということも覚えています。

今、二児の父になり、下の子(中学三年)がハンドボールをしています。部員(同学年)が 9 名で、「補欠」のようです。「コーチ」に行きたい葛藤にかられながら、気持ちを抑えています(笑)。ひとつだけ感じることは、最近の部活は「規律」がいい加減というか、先輩後輩の関係が以前と違い「友達感覚」のような気がします。寝屋高はどうなんでしょうか？実はその辺が「部活」を通じて一番学んだことかもしれません。在校生の皆さん。この時期の 2 年半は人生の中であとから思い起こすととても「長い」と感じます。すごくたくさんハンドボールをやった気がしています。ぜひ悔いのない高校生活を送って



ださい。また、「ナイター」にも一度参加したいと考えています。それでは、次の方にリレーします。学生時代お宅にも泊りに寄せていただき色々お世話になりました33期の安東さん、その後いかがお過ごしですか？近況お知らせください。

## 45期 大池 和幸

私は今、日刊スポーツ新聞社の現場記者として働いている。拠点は関西で、担当は野球以外の一般スポーツ全般。ところが寝屋高ハンド部で得たハンドボールの知識は、正直いって、役立っていない。新聞読者ならご存じのように、ハンドボールが紙面で大きく扱われることはないからだ。

ただ昨年1月には「中東の笛」をきっかけとした北京五輪予選プレーオフが日本中の注目を集めた。ハンドボールがスポーツ紙で史上初の1面を飾った(日刊は東京のみ、大阪発行版はおそらく阪神だった)ことをひそかに喜んだ。

さあ任せろ、私の時代が来たと勇んだものの、試合は東京開催だったため、地域上の問題で取材に行けず、悔しい思いをしたものだ。威張ってハンドの知識をひけらかす機会はないかもしれない。

それでも、寝屋高ハンド部の3年間で培った根性、そしてやり遂げる精神力は、現在の私の血となり肉となっている。北岡大覚先生にはずいぶんとお世話になった。初心者軍団の私たち45期生を、そこそこ見られるチームに育てていただいた。ある日の練習試合を「尺

八のけいこ」という理由で欠席された時は、思わずのけぞってしまったが。

いろんなことがあった。中でも思い出すのが、桃山学院高校との練習試合だ。3年生春の大会前だったろうか。北岡先生が、相手の高橋精一監督と昔のチームメートだった関係で、実力的にありえないマッチメイクが実現した。

向こうはその年、全国大会で2位という超強豪。一方こちらは弱小校が集まる東ブロック(今はレギュレーションが変わったのかもしれない)の平凡チーム。当然勝負にならなかった。それでも1日で数試合をこなすうち、最後はダブルスコア程度まで点差は縮まった。やればできる、と自信が少しずつ湧いてきた。

試合後、激しく雨が降ってきた。北岡先生は倒れ込みシュートの練習をするよう指示した。1人ずつ、泥まみれのグラウンドに飛び込み、ひたすら投げ続けた。ボールは滑り、シュートミスを繰り返したが、最後までやり抜いた。今思えば、これぞ青春の1ページ。その様子を見ていた桃山学院高の高橋先生が「お前たちなら東で『頭』を取れる」とブロック優勝に太鼓判を押してくれたことが、うれしかった。

そして迎えた大会は、結局優勝できなかった。エースの中道君が直前の負傷で欠場した影響もあり、あと1勝のところまで中央大会出場さえも逃した。本来なら引退の時期だが、後悔したくない思いが募り、3年生ほぼ全員が夏まで現役を延長。下級生には出場の機会を減らして迷惑をかけたが、次の大会は東ブロック2位となり、中央大会に進むことができた。

卒業後、神戸大学でも体育会のハンドボール部に

入った。運良く1年秋から出場機会を与えられた。関西大学リーグは全6部あり、当時神戸大は2部。国立大としてはまずまず強い部類に入る。私は1部リーグとの入れ替え戦にも出場できた。桃山学院高で対戦したメンバーの1人がいた関西学院大学にも勝ち、個人的に数年越しのリベンジを果たせた。3年秋からは主将。そんな肩書のおかげで就職活動もスムーズだった。「スポーツが好き」という単純な理由に説得力が生まれ、希望していた職種に就けた。すべては寝屋高ハンド部での経験から始まっている。

惜しむらくは就業時間が不規則なため、最近はハンドボールを実際にプレーすることができていない。運動不足。少し腹が出て、息はすぐ切れる。遠投は40メートルに満たないかもしれない。それでも、ハンドの魅力は忘れていない。現役の成績も気になる。今年こそ、夏のナイターハンドボールに参加してみようかと、腹をさすりながら、考えている。次のリレー走者は私の1学年下、46期生の「門井妙さん」にお願いします。もし連絡がとれないなら同じく46期生の「横川友和くん」で。確か彼は大阪府立大(大阪市大かも)でハンド部だったと思います。よろしくお願いします。

## 51期 田淵 祐平

はじめまして。バカ集団(51期の総称)の一人、田淵です。今年の3月で寝屋高を卒業してから丸10年経ち、気がつけばアラサーと呼ばれる年齢になってしまいました。就職以来、福島県二本松市というところに住んでいます。普段はメタボを避けるためにジムで筋トレやランニ



ング、スノーシーズンになると毎週雪山でスノーボード三昧の自由な生活をしています。福島に住んでいるということもあり、OB会にも参加出来ず、OB会とは無縁だなと思っていたところ、先日、副会長の寺西さんからリレー伝言板への寄稿の依頼があり、OB会との縁の復活の意もこめて、今回書かせて頂いております。昔から文章を書くのが苦手で、まとまりのない文になりますが、少しの間お付き合い願います。

一年の春、仮入部期間に何度かハンド部に行っている間にそのまま入部していました。今思うと何故ハンド部に入ったのか謎です。ハンドをやってみて楽しかったからか、同じ中学の二人が入部したからか、高一のクラスに入部希望者が他に5人もいたからか・・・おそらく全部が重なったからだと思います。入部後は普通に練習をし、レギュラーになり、試合では勝ったり負けたり。中央大会には行けずで、あっという間に3年が経って卒業。もっと考えて中身のある練習をし、筋トレもちゃんとしていれば、強いチームになったかもしれないなど、ちょっと後悔も・・・。現役時代の一番の思い出は、学校で行った夏の合宿です！昼間は練習、練習後は銭湯に入り、五光の『質より量』がよくわかるご飯、夜はセミナーハウスの一階の部屋でワイワイガヤガヤ雑談後に就寝。夜の雑談では先輩後輩の壁もなくなり、また、同期内においても、一つ上のキャプテンだった上垣先輩の助言のおかげで、さらに仲良くなりました。チームが団結するには良い機会だったと思います。

卒業後、10年経ちますが、バカ集団とは現在も繋がっていて、誰かが結婚する度に結婚式が同窓会の場になっています。バカ集団では結婚式で円陣を組んで声出

しをする恒例の行事があって、結婚式に参加するときの楽しみの一つになっています。自分が結婚する機会があったら必ずやって欲しいので、バカ集団のみなさん宜しくお願い致します。

他にもバカ集団のキャプテンの偉大さとか、シャブ(重成)の自転車日本一周旅行とか、去年の10月に寝屋高で行ったハンドのこととか、色々書きたいと思うことはあるのですが、私の文章力ではまとめ切れないので、他のバカ集団に託します。

最後に、リレー伝言板ということで、次の人を指名させていただきます。できれば同期以外で指名して欲しいとのことなので、次は、ハンド部の先輩でもあり、会社の先輩でもあり、昨年結婚された50期の小出先輩でお願い致します。面白い文を期待しています！

## 60期 上村 修平

寝屋川高校ハンドボール部を引退して約二年、本当にあっという間に過ぎていきました。あのころは中央大会出場を目指して赤星先生の指導の下日々練習に励んでいました。最後の大会となる春季大会では地区大会で惜しくも一点差で敗れてしまい、目標を成し遂げることができませんでした。引退試合後、仲間と共に涙したことは今でも鮮明に思い出すことができます。それからは勉強に専念し、ついには念願の神戸大学に合格することが出来ました。

さて、僕は大学に入学してからハンドボールを続けるかどうかとても悩みました。適当なサークルに入り、バイトを中心に適当に大学生活を送ろうかとも考えました。

しかし、一度ハンドボール部の練習の見学をしに行き、すぐに決断しました。そこには高校ハンドと変わらない真剣に練習に取り組む先輩方の姿があり、僕はその雰囲気刺激されてついに入部を決意しました。初めは練習についていけるのか、大学のハンドボールのレベルについていけるのかとても不安でしたが、週5の練習勉強、バイトの生活にも慣れて日々充実した生活を送っています。

現在、神戸大学ハンドボール部には指導をしてくれるような顧問はいなくて最上回生である幹部を中心にメニューを考えて練習を行っています。それはまだ最上回生ではない僕にはまだ実感できませんが、とても大変なことなのです。OBの方々の期待も背負いプレッシャーに打ち勝ち勝たないといけません。そこで重要になるのがやはり後輩の支えであると思います。先輩たちが決めた練習メニューがどれだけきついものであるとしても、文句をもらさずに従うといった協力体制こそが良いチームをつくる一番の条件だと思います。これは高校時代キャプテンを任されていた僕が実感したことで、同年の仲間も後輩たちもよくついてきてくれました。

先日、後輩たちの春季大会の試合を応援しに行きました。雨が降る中でしたが、ひたむきにプレーしている後輩たちの姿を見て、それまで一生懸命練習してきたことがうかがえて本当に安心しました。

すでに新チームが始動していると思いますが、指導してくださる顧問の先生やコーチへの感謝を忘れずにチームが一丸となって、長いようで短い一年間を悔いのないように全力でがんばってください！最後に次の方の指名ですが、58期の井本さん、バリバリお元気ですか。



次回よろしく。



「リレー伝言板」では、OB・OG の皆様に近況やハンドボールへの思い(現役の時の思い出、ご当地での最近のスポーツについて)などを自由に語っていただき、同期、先輩、そして後輩へリレー形式でつないでもらっています。また、掲載された内容についての感想、コメントをお寄せください。会員の皆さんにも紹介をし、輪を広めていきたいと思っています。今回はあなたが指名されるかも…。

新規の「リレー伝言」も随時募集しています。是非この伝言板を利用して、なつかしい方々へあなたの熱いメッセージを送ってください。宛先は、編集後記の OB・OG会事務局までお願いします。

## 小・中学生ハンドボール活動のスタッフ・協力者募集の、お知らせ

長年マイナースポーツとして脚光の浴びることの少なかったハンドボールですが、2007～8年度にかけての北京オリンピック予選の「中東の笛」騒動以降の、全日本のスーパーエース宮崎大輔選手のマスコミに対するアピールは特筆的なものでした。かつてハンドホールをかじったことのある我々もこのブームに乗り、今後のハンドホールの普及・隆盛を願ったところです。

ところでこのハンドホールの普及・隆盛を目指した活動として、わが母校寝屋川高校ハンドホール部出身者

で2年前まで日本ハンドホール協会の専務理事をされていまして大西武三さん(16期生)がその在任時に取り組まれていました「小・中学生(ジュニア)ハンドボール普及活動」があります。この活動に関連した取組みがわたしたちの寝屋川高校ハンドボール部の周りにも2つあります。

1つは2004年に寝屋川高校に赴任されました現顧問の赤星先生が前任校時代からのライフワークとして取組まれています、毎月2回土曜日朝、寝屋川高校グラウンドで行われています「小・中学生ハンドボール教室」です。赤星先生が寝屋川市内の小・中学生に呼びかけられ上述の「中東の笛」騒動以来関心が高まり、多い時には 50 人前後の男女小・中学生が集まりハンドボールを楽しむ活動です。もうすでにこの中から数人が寝屋川高校に進み、ハンドボール部に入部した生徒もいます。

2つ目は、OB・OG会会報にも何度か紹介してきました「NPO 法人ウェルネス啓発センター」が活動の一部として2005年より年1回開催されている大阪府下の「小・中学生ハンドボールサークル」の大会です。この NPO 法人には我がOB・OG会の会員の方も何人かが参加されている活動です。

このような我々の身の周りのハンドボール普及を願う活動は、我々寝屋川高校ハンドボールOB・OG会の願いと一致するものです。

つきましては、上記2つの活動では、その取組みでハンドボール経験者による指導・手助け・スタッフ不足に悩まれています。そこでOB・OG会では会員の皆様にこの2つの活動の協力者の募集の呼びかけを行いま

す。以上の主旨に理解・賛同いただける方の協力をお願いします。

<連絡先>43期 稲葉 清志

携帯電話 080-6152-6638

## < 編集後記 >

① OB・OG 会では、ホームページ(以下 HP)を運営しています。つきましては HP 関連の知識をお持ちの方、また興味をお持ちの方を募集しております。ご一緒にいかがですか。HP 委員会に参加ご希望の方は下記事務局か、下記アドレスまで電子メールをお送りください。

② アドレス <http://www.neyagawahandball.net/> 住所や連絡先が変わられた方は、HPまでご一報ください。

## <事務局連絡先>

〒572-0832

寝屋川市本町 15 番 64 号

寝屋川高校 ハンドボール部 OB・OG 会事務局

HP: <http://www.neyagawahandball.net/>

